

**校長室から** 令和2年12月24日

## 雪に耐えて梅花麗し

2020年が終わろうとしています

皆さんが無事できてくれたことを嬉しく思います

2020年が終わろうとしています。1年が経過しても新型コロナウイルス感染拡大は収束しないまま終わりそうですね。現在は「第3波」が去らず、逆に感染拡大は広がっているようです。年末年始のイベント、そして、高校入試、大学入試等で人の流れがさらに加速します。健康に留意して油断せずに生活しましょう。

1、2年生の皆さんは、現在、長町中学校での様々な活動の中心として力を発揮しています。制約下の多い生活ではありますが、通常の学習はもちろんのこと、生徒会活動や部活動にも真剣に取り組む姿勢は、とても素晴らしいと思います。

3年生の皆さんにとって、今は決して楽しい日々ではありませんね。「進路実現」というプレッシャーが心にのしかかっている時期でもあるでしょう。合否の結果もとても気になると思いますが、進路に向き合う過程で何ができたか、何をどのように悩んで、解決しようとしたか、何を目標に頑張ったか、自分の頑張りに誇りを持てるか、自分から逃げずに向き合うことができたか等、進路実現の過程には、人として大きく成長できる根本的な問題が含まれています。自分の進路選択を真剣に考え、目標に向かって取り組んでいるその姿こそが、価値があり、尊い事だと私は思います。自分の心と体と対話しながら、自分を見失うことなく、一歩ずつ進みましょう。心身の体調管理も大切です。「体調が悪いな」と感じたり、「少し休憩が必要」と思ったりした時は、心も身体も休ませてください。

「雪に耐えて 梅花麗し」という漢詩の一節があります。これは、江戸から明治にかけて時代を大きく変化させた人物の一人である西郷隆盛が縁者に送った漢詩の一節です。実際は、「…… 耐雪梅花麗 経霜楓葉丹 ……」と続きます。梅の花は、雪に耐えて麗しく咲き、楓の葉は、霜を経て真赤に紅葉するという意味です。3年生の皆さんにとっての意味として当てはめてみると、辛く苦しい時期を乗り越えてこそ、希望の春がやってくるという事になるでしょう。

苦しい時期を乗り越えるという事は、「頑張り過ぎるくらい無理をするという事」ではありません。自分を必要以上に痛めつける事が正しい頑張りとは言えないと思います。人間は「のびきったバネ」のような状態になってはいけません。バネは「遊び」があればこそ、その役目を果たします。人間もただひたすら、限界を超えてまで頑張りすぎることが大切なわけではありません。思い切って身体を休ませるという事も自分と向き合うことにつながります。

全学年の皆さんが、個々人の力で、そして様々な方々のお力を借りながら、今年1年を乗り切ってきました。この状況においても、皆さんが無事できてくれた事がとても嬉しいです。本校の教職員、そして皆さんの身近にいる先生方も健康でいてくれています。だからこそ、感染症が間近に迫ったり、実際に本校から感染症が確認されたりしても、みんなで冷静に対処したいものです。暗い話題が多かった2020年ではありましたが、皆さんの命があり、生活を共にできた事が一番の光でした。短い冬季休業ですが、リフレッシュして戻ってきてください。よいお年を迎えてください。2021年、皆さんがまた笑顔で学校に戻ってきてくれる事を心から願っています。